

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

## 目次

令和7年第1回定例会の議決結果	②～③
意見書	③
委員会審査	④～⑤
一般質問	⑥～⑫
令和7年度当初予算・ 令和6年度補正予算審査	⑫～⑭
鳴門渦潮高校「鳴門活性化発表会」	⑮
令和7年第2回定例会の予定、ご意見箱	⑯

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発刊／2025年(令和7年)6月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## ～ 令和7年度新規採用職員研修(議会について)～



新規採用職員を激励する藤田議長(上)  
議場で研修を受ける新規採用職員(下)

No. 131

## 《 令和 7 年 第 1 回定例会の議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会	
議案第 1 号	専決処分の承認について（令和 6 年度鳴門市一般会計補正予算（第 8 号））	承 認	予算決算	
議案第 2 号	専決処分の承認について（令和 6 年度鳴門市一般会計補正予算（第 9 号））			
議案第 3 号	令和 7 年度鳴門市一般会計予算	原案可決		
議案第 4 号	令和 7 年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算			
議案第 5 号	令和 7 年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算			
議案第 6 号	令和 7 年度鳴門市介護保険事業特別会計予算			
議案第 7 号	令和 7 年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算			
議案第 8 号	令和 7 年度鳴門市給与費等管理特別会計予算			
議案第 9 号	令和 7 年度鳴門市公債費管理特別会計予算			
議案第 10 号	令和 7 年度鳴門市水道事業会計予算			
議案第 11 号	令和 7 年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算			
議案第 12 号	令和 7 年度鳴門市下水道事業会計予算			
議案第 30 号	令和 6 年度鳴門市一般会計補正予算（第 10 号）			
議案第 31 号	令和 6 年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）			
議案第 32 号	令和 6 年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）			
議案第 33 号	令和 6 年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）			
議案第 34 号	令和 6 年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第 1 号）			
議案第 35 号	令和 6 年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第 1 号）			
議案第 36 号	令和 6 年度鳴門市水道事業会計補正予算（第 1 号）			
議案第 13 号	鳴門市公告式条例の一部改正について			原案可決
議案第 14 号	鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について			
議案第 15 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について			
議案第 16 号	鳴門市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について			
議案第 17 号	鳴門市職員退職手当支給条例の一部改正について			
議案第 18 号	鳴門市職員諸給与条例等の一部改正について			
議案第 19 号	鳴門市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について			
議案第 20 号	鳴門市単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について			
議案第 21 号	鳴門市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び鳴門市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について			
議案第 22 号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について			
議案第 23 号	鳴門市職員等の旅費に関する条例の一部改正について			
議案第 24 号	鳴門市消防団員の給与及び費用弁償条例の一部改正について			

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第25号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第26号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第27号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第29号	財産の取得について		
議案第28号	鳴門市農林水産業振興基金条例の制定について	原案可決	産業建設
報告第1号	専決処分について（訴えの提起について）	報 告	産業建設
発議第1号	鳴門市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	
発議第2号	鳴門市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決	
発議第3号	鳴門市議会の個人情報の保護に関する条例及び鳴門市議会倫理条例の一部改正について	原案可決	
意 第1号	選択的夫婦別姓制度に関する積極的な議論を求める意見書	原案可決	

## 選択的夫婦別姓制度に関する積極的な議論を求める意見書

近年、我が国では、結婚後も夫婦が望む場合、結婚前の氏を称することを認める選択的夫婦別姓制度の議論が高まっている。

2022年3月に公表された内閣府の「家族の法制に関する世論調査」では、選択的夫婦別姓制度については、導入に賛成する意見も多く、国民の間では様々な意見が存在することが明らかになった。

法務大臣の諮問機関である法制審議会は、1996年、選択的夫婦別姓制度導入などを含む民法改正要綱を答申した。

最高裁判所は2015年12月の判決では、「夫婦同姓制度は、社会に定着しており家族の姓を一つにまとめることは合理性がある」との判断をしつつも、「制度のあり方は国会で論じられ、判断されるべき」との結論を出した。

選択的夫婦別姓制度は、同姓または別姓かを「選択」できるようにするものである。

最近の世論調査では、「選択的夫婦別姓制度」に若年層ほど賛成が多くなっている。

2024年6月には、一般社団法人日本経済団体連合会が、政府への提言の中で、「女性活躍を阻害する社会制度の課題」の一つとして、夫婦同姓制度は見直しが必要としたところである。

社会の考え方、価値観が変化し、家族のあり方も多様化する時代の中、世の中の変化に主体的に対応していくため、最高裁判所の趣旨も踏まえ、さらには一般社団法人日本経済団体連合会の提言にもものっとり、国会及び政府の責務として制度のあり方を議論していかなければならない。

よって、国会及び政府においては、選択的夫婦別姓制度について積極的な議論を行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月18日

鳴門市議会

※定例会で可決された意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣へ送付しました。



## 総務文教委員会

### ●議案第22号

鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について

市長などの特別職の期末手当の支給月数について、国家公務員の特別職に適用される月数を参考に適時改定することが望ましいとの鳴門市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、期末手当の増額改正を行うもの。

【質疑】 今回の改正により人件費はどれくらい増加するのか。

【答弁】 市長などの特別職と市議会議員を合わせると700万円強の増加となる。

【質疑】 6月支給分と12月支給分の期末手当の支給月数が均等となった理由は。

【答弁】 鳴門市特別職報酬等審議会の答申の附帯意見において、国家公務員の特別職に適用される期末手当の月数を参考にすることが望ましいとされたことから、国に準じた月数の配分としている。



## 生活福祉委員会

### ●議案第27号

鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

就学前教育・保育施設における医療的ケア児の受入れ実施の支援体制を構築することを目的に、新たに市長の附属機関として鳴門市医療的ケア運営協議会を設置するため、所要の改正を行うもの。

【質疑】 鳴門市医療的ケア運営協議会の担当事務は。

【答弁】 協議会が、法律や国のガイドラインに基づき、医療的ケア児の受入れを行うための施設基準などを定めた鳴門市のガイドラインを策定する。その後、受入れを行うための施設が確保できれば市民へ周知し、申込みを受けて協議会が必要な医療的ケアなどを審査し入所決定する。

【質疑】 鳴門市医療的ケア運営協議会の会費の報酬の額は。

【答弁】 医学的な専門知識などが必要であり、医師や関連団体の方が会員となるため、介護認定審査会や障害支援区分審査会に準じた額としている。



## 産業建設委員会

### ●議案第28号

#### 鳴門市農林水産業振興基金条例の制定について

鳴門市農業振興計画および鳴門市水産振興計画に沿った取り組みを継続して実施していくための安定した財源確保を目的として、新たに基金を創設するもの。

#### 【質疑】

現在、農林水産業を営む方の高齢化や後継者問題などで事業の存続が非常に厳しい状況にあるが、新規就業者の育成などに関する本市の取り組みは。

#### 【答弁】

漁業については、県との連携により「とくしま漁業アカデミー」を活用した若手漁業者の研修制度がある。毎年15人から20人程度が受講しており、鳴門市では毎年3人程度が就業している。農業については、国の新規就農に係る補助金の活用や相談体制の充実を図るとともに、就農後においても近隣農家および農業委員からのさまざまなサポートが受けられるように取り組んでいる。

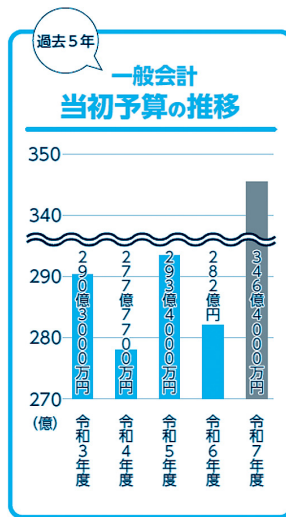


## 予算決算委員会

### ●議案第3号

#### 令和7年度鳴門市一般会計予算

防災・減災対策事業として避難所QOLの確保事業を重点的に実施するとともに、文化会館耐震改修事業の進捗を図るほか、「なるこま」のごと 子育て応援。パッケ―ジ事業」や、「なるこまつづつ子学力向上。パッケ―ジ事業」などの主要施策のさらなる充実を図るなど、「あらたな なるこま」の実現に向けた予算となっている。



#### 【質疑】

リノベーションまちづくり推進事業の内容は。

#### 【答弁】

遊休地や公共空間、空き店舗などの「まち」の既存資源を活用し、民間主導で新たなコンテンツの造成やコミュニティの活性化などを図る事業である。

#### 【質疑】

予算500万円の使途について。

#### 【答弁】

リノベーションまちづくりにおける行政の役割は、人材育成の場所づくりと考えているため、リノベーションまちづくりの手法を学ぶ講演会やワークショップなどを開催し、人材の掘り起こしや意識醸成を図っていく。また、遊休地や公共空間、空き店舗などの状況を分析し、事業エリアの選定を検討していく。

# 一般質問

## 代表質問

### ①江戸 貴志(会派 ナルト地方創生会)

#### 1. 教育行政について

- (1) 鳴門の学校づくり計画について

#### 2. スポーツ振興について

- (1) スポーツ環境の充実について



### ②長濱 賢一(会派 創心クラブ)

#### 1. 人口減少対策について

- (1) 人口減少問題について
- (2) まちづくりについて

#### 2. 観光行政について

- (1) 鳴門市の観光振興について

#### 3. 鳴門市文化会館について

- (1) 鳴門市文化会館耐震改修事業について

### ③東 正昇(会派 潮)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 令和7年度当初予算について
- (2) 「なると未来づくり総合戦略2025」について
- (3) スポーツ振興について



### ④宅川 靖次(会派 令和なると)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) スポーツ行政について
- (2) 観光行政について
- (3) 令和5年度決算について



### ⑤浜 盛幸(会派 公明党)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 災害時における学校体育館の防災機能強化について

#### 2. マイナンバーカードについて

- (1) マイナ保険証及びマイナンバーカードの普及と利用促進について

#### 3. 観光行政について

- (1) 大阪・関西万博における観光施策について

### 一般質問とは

市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問することです。

定例会ごとに一般質問を行っていますので、皆さんの生活に関わる質問をチェックしてみましょう。

**問** 第二期鳴門の学校づくり計画が策定され8年が経ち、次期の第三期計画も考えていかなければならない。策定当時予想していた児童数の減少よりも今後大幅な減少傾向となり、鳴門市内の小学校に通う児童に良い教育環境で小学校生活を送ってもらうためにも早期前倒しをし、第三期鳴門の学校づくり計画、小学校再編計画を策定するべきと考える。5年後の令和11年度には、児童数が令和7年現在の2213人より555人減少することがほぼ確実な状況である。児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できる教育をすすめる、多様な学習活動や集団活動ができる学級人数の規模およびクラス替えのできる複数学級を維持していかなければならない。適正規模の小学校にしていくべきだが、市の考えは。

**答** 国が示す標準規模を満たす学校は



会派 ナルト地方創生会  
えど 貴志

### 鳴門の学校づくり



本市では小学校で12校中1校、中学校で5校中1校という現状であり、少子化が急激に進行するなかにおいて学校再編は避けて通れない。2月17日開催の全国市長会社会文教委員会のウェブ会議で文部科学省から学校の適正規模・適正配置について説明があり、教育委員会も情報を共有している。文部科学省の基本的な考え方、より良い教育環境を実現するための国の支援策、学校施設と他の公共施設を複合化・共用化することによる高機能化・多機能化など先行自治体の事例などを参考にしながら、次期学校づくり計画の策定を前倒しすることも検討する。



会派 創心クラブ  
ながはま けんいち  
長濱 賢一

### 人口減少対策

**問** 少子化・人口減少対策は、2030年代に入るまでがラストチャンス。人口減少対策の総括について。また、少子化・人口減少対策など持続発展可能なまちづくりの実現を指した鳴門駅周辺の再開発は。

**答** 近年、市の中心部でも人口の減少割合が高くなりつつある。若者の転出超過と未婚化や晩産化の進展、出生数減少などの対策が急務である。鳴門駅周辺再開発については検討組織を設置する。オープンな場で議論し、議事録や資料は公開を前提とする。今後の50年を見据えた新しい鳴門の顔をつくるまちづくりに鋭意取り組む。

**要望** ウォーカーフレンドなコンパクトシティの実現には各エリアのネットワーク化が必要である。グリーンベルトや川辺など水際空間の整備、鳴門駅周辺の再開発に新しいスポーツ施設の整備を提案する。

### 多文化共生社会の実現

**問** 増加する外国人への支援、多文化共生社会の実現について問う。

**答** 一部窓口課への翻訳機の設置や制度周知用の外国語パンフレット配布など対応を行っている。国際交流に取り組む団体などと情報共有などの連携を図り、外国人住民にとって住みやすいまちづくりにつなげる。



アプリを使った翻訳機

**要望** 多文化共生社会の実現のため、鳴門国際交流会などとの協調、協働、支援を要望する。

### 観光振興施策

**問** 令和7年度の観光誘客施策は。

**答** 大阪・関西万博については、県やDMO等と一丸となって取り組む。また、レンタカー利用者への宿泊助成や、シェアカー導入などにより観光客の周遊促進、滞在時間の延長、宿泊客の増加を図る。地域の歴史や伝統文化など文化資源については、情報収集・利活用の検討を行う。



会派 潮  
あずま まさひろ  
東 正昇

### 令和7年度の予算編成

**問** 令和7年度の一般会計346億4000万円の予算編成についてどのような方針で臨んだのか。また、方針を基にした重点事業は何か。

**答** 当初予算では、ボートレース事業収益の状況から、過去最大の60億円を繰り入れし、この繰入金を活用し、減債基金に約9億円、ボートレース鳴門まちづくり基金に20億円、合計29億円を積み増し、新たなまちづくりに向けた安定的な財源を確保する。

重点事業については、南海トラフ巨大地震に備える防災力強化の構築およびなると未来づくり総合戦略2025における「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」の各種施策の推進のほか、「ひとが輝き 持続可能な未来をひらく あらたなる」との実現に向け取り組む。

スポーツ施設整備事業では、体育館と屋内温水プールを兼ね備えた新しいスポーツ施設の建設に向けた基

本計画を策定する。

また、衛生センターグラウンド利用環境改善事業では、屋根付き観覧席とトイレおよび防災倉庫が一体となった施設の設計に取り組む。

文化会館耐震改修事業では、世代や文化を超えた交流が促進される場としての再生を図り令和9年6月のグランドオープンを目指す。

また、市内の身近な場所でクラシック音楽に触れることができ、音楽を通して人と人がつながり、社会的孤立の解決に向けた一助ともなるよう、100万人クラシックライブを開催する。

さらに、補助金の拡大等により、農水産業の維持、発展及び観光振興を図っていく。



令和9年6月のグランドオープンを目指し耐震改修工事中の文化会館



会派 令和なると  
たくかわ やすじ  
宅川 靖次

## 新しいスポーツ施設の建設候補地

**問** 新しいスポーツ施設の取り組みと今後の方向性は。

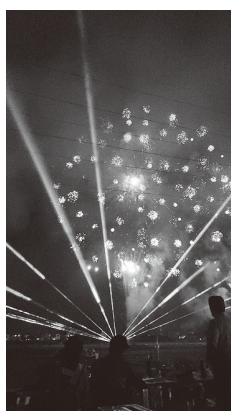
**答** 建設候補地として基本構想の策定にあたり、費用を抑え早期完成が可能となる市有地を含め、検討委員会と協議した結果、ポートレース鳴門西側の敷地が望ましいと考えている。今後は基本構想をさらに具体的なものとし、令和7年度中に基本計画を策定したい。

## 鳴門市納涼花火大会代替イベント

**問** 鳴門市納涼花火大会代替イベントの概要は。

**答** 8月7日、鳴門・大塚スポーツパークで開催し、「ファンタジックショー」と題して音楽とレーザーライトを合わせた演出を施し最大2・5号玉の花火を約千発打ち上げるとともに、ステージイベントや露店、マルシェを組み合わせるものであり、花火単体に頼らない、安全・安

心に多彩な楽しみ方のできるイベントとなる予定である。今後はステージイベントや露店、マルシェの出店数など具体的な内容の検討を進め、4月に開催予定の実行委員会において審議し承認され次第、8月7日の本番に向けて準備を進め、多くの皆様にご来場いただける魅力あるイベントとなるよう取り組んでいく。



ファンタジックショー (イメージ)

## 財政健全化に向けた取り組み

**問** 令和5年度決算について。

**答** 令和5年度決算は、新庁舎建設債の最終年度による事業費の増加が大きな要因となり、過去最大であった。今後より一層厳しい財政運営となることが予想されるため、本市の行財政改革計画であるシン・スーパード改革プランに基づき財政健全化に向けた取り組みを全庁挙げて積極的に推進していく。



会派 公明党  
はま せいこう  
浜 盛幸

## 小学校の体育館への空調整備

### 空調整備

**問** 災害時の避難所については、国際赤十字が提唱する最低基準（スファイア標準）に「最適な快適温度、換気と保護を提供する」とあり、過去の熊本地震時には避難所において災害関連死が多発したことなどを教訓として避難所の環境整備についての大幅な加速が求められている。本市においては令和6年度に第一中学校体育館に災害時に強いガスヒートポンプ式エアコンが設置され、令和7年度には大麻中学校と瀬戸中学校への設置予算が計上され、令和10年度までに市内全中学校の体育館に設置の予定とのことである。国と連携し市内すべての小学校の体育館へも空調設備の設置を進めるべきであると思うが。

**答** 小学校への空調設備の設置については、現在進めている中学校の設備における効果や費用などを検証しつつ、今後検討していく。

## 空調設備の最先端機器の導入

**問** 空調機器についてコスト面や機械の精度、設置技術など設備は日々進化している。今後の設備については最新の技術や事例を参考にすべきと考えるが。

**答** ガスヒートポンプ式エアコンは停電時にも使用でき、長期のランニングコストが低く、CO2排出削減効果も見込まれる。しかし、既存の体育館の多くは断熱性能が確保されておらず、冷暖房効率が悪く断熱対策には多額の費用が必要となる。今後の空調設備の導入に当たっては、施設の規模や使用状況、フェーズフリーの概念も取り入れ、避難所のQOLを高め環境負荷の軽減などにも考慮した技術や事例について調査・研究を進めていく。







うえだ こうじ  
上田 公司

### 鳴門市再生に向けた まちづくり

**問** 撫養川沿いに船の発着場を整備し、遊覧船や定期便を新たに運行し、周辺でイベントを実施。さらに鳴門公園まで移動できれば、観光シーズンの渋滞回避にもなり、災害時の避難者や物資の輸送にも繋がる。また、まち歩きができるよう、うずしおふれあい公園から鳴門駅までを一体的に整備すれば、うずしおふれあい公園から鳴門駅、鳴門駅から文化会館周辺、さらには鳴門公園までの鳴門市再生に向けたグラウンドデザインが出来る。市として今後のまちづくりの参考にしたい。

**答** 歩きたくなるウォークアブルな空間への転換は重要な要素と認識しており、実証実験的な手法の導入



鳴門駅周辺

も含め検討を進める。船を移動手段としたまちづくりについては、全国的にもにぎわいに繋げようとする取り組みが進められているが、船着場の整備や運営管理に多額の費用を要するなど課題もあることから、その可能性について検討したい。

### 深刻な人口減少と まちの衰退

**問** 鳴門市総合計画を見ると、一見事業が順調に進み、まちが発展しているかのように錯覚するが、現実には県下最悪の人口減少で、出生率も県下最低、周辺自治体では唯一、消滅可能性自治体となり、まち全体の衰退も深刻である。この十数年の間、各事業のほとんどが概ね達成との評価なのに、なぜ人口減少が抑制されることなく、計画よりもさらに減少し、まちが衰退しているのか。

**答** 市が担う業務の範囲や財源などが限られる中、多岐に及ぶ人口減少などの要因に対して、市の施策による効果のみで十分な対策を取ることが容易ではないが、もしもこれらの事業を展開していなければ、より人口減少などは加速したと認識している。



まえだ なつこ  
前田 ナツ子  
(公明党)

### 5歳児健診の導入

**問** 近年増加している発達障害は、母子保健法に規定される3歳児健診では発見が難しく、発達の特性を持つ子どもたちは就学後に環境に適応できず、不登校や問題行動を起こしてしまつことがある。5歳児になると社会性が発達することから早期発見、早期療育に繋がれるとし、国も令和6年度から補助額を引き上げるなど、5歳児健診への支援体制を強化、全国への普及を開始した。本市において、5歳児健診導入についての見解は。

**答** 平成22年度から県下に先駆けて5歳児を対象に発達相談支援事業を実施。現在は、対象年齢を4歳2か月から4歳4か月頃の幼児とし、専門職による集団行動の観察や個別相談を申込み制で実施しており、国が求める5歳児健診に近い形での事業を既に実施しているものと認識している。  
5歳児健診の導入については、国や県の取り組み状況を注視しつつ、

本市の発達相談支援体制の在り方を検討する。



### 投票所でのサポートと 期日前投票所の増設

**問** 投票が困難な方への投票所におけるサポートとして、投票支援カードやコミュニケーションボードの導入の考えは。また、期日前投票利用者が増加傾向の中、本市の期日前投票所の増設の考えは。

**答** 投票支援カードやコミュニケーションボードは、支援を必要とする選挙人の利便性の向上に資するものと考えられるため、効果的な活用方法について検討し、投票環境の向上に努めていく。期日前投票所は、選挙人の利便性向上に寄与していると認識している。投票所の統廃合が必要となった場合には、選挙人の投票機会を確保するために、増設などについて今後の課題として検討していく。

個人質問



こうらい ひろゆき  
高麗 裕之  
(ナルト地方創生会)

夏の風物詩としての  
継続的な開催を

**問** 鳴門市納涼花火大会は、地域の活性化に大きく貢献している。昭和58年から撫養川沿いの親水公園周辺で開催され、長年親しまれてきた。代替イベントは8月7日に開催されるが、開催決定に至るまで、どのような議論が行われてきたのか。

**答** 令和5年8月の花火大会終了後から、鳴門阿波おどり実行委員会において今後の在り方について検討してきた。イベント開催時に花火を打ち上げた実績があることなどを総合的に判断し、8月7日に鳴門・大塚スポーツパークにて代替イベントを開催することが決定された。花火の号数、発数は最大2・5号玉を約千発とし、ステージイベントや露店、マルシェを同日開催し、安全・安心に楽しめるものとなるよう取り組む。

**要望** 来年以降の納涼花火大会は、地域が活性化するように全力で取り組むことを強く要望する。



納涼花火大会の代替イベントが開催される大塚スポーツパーク

修学旅行の無償化を

**問** 近年、修学旅行の費用負担が家庭にとって大きな負担となっている。子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、修学旅行の費用を無償化してはどうか。

**答** 本市の修学旅行の費用は、小学校は1人当たり3万円程度、中学校は1人当たり7万円程度となっている。教育にかかる経済的負担を含めた各家庭の負担軽減策について、なるとまらごと子育て応援パッケージ事業を実施し、子育て世帯の負担軽減を図っている。今後も、子育て世帯の負担軽減が図られるよう、子育て支援策を充実していく。

**要望** 物価高による経済的な負担を軽減し、修学旅行の無償化を検討するよう強く要望する。



みつよしひろ  
三津 良裕  
(創心クラブ)

危険な河川の管理

**問** 鳴門市の河川区域内の不法係留船や沈没船は、川の水の流れを阻害したり、津波や高潮のときに船舶が流出して被害を引き起こす恐れがある。不法係留船の現状と撤去に向けた対策は。

**答** 不法係留船について、令和3年以降毎年、個々の船体番号、隻数の増減状況、船舶の位置や移動実態の調査を行い、国土交通省などへ船体番号の登録情報を照会し、判明した所有者に撤去を求める通知文を送付している。

市内全域の状況は、令和3年7月は沈船25隻、不法係留船は185隻だったが、令和6年6月には沈船はゼロ、不法係留船は155隻となった。今後も不法係留船の減少に向け取り組み。



全ての道路の安全確保

**問** 市内の国道、県道、市道の除草、横断歩道の白線や停止線の引き直し補修、基幹道路から入った細い道路、交通量の少ない道路の全面舗装補修の計画は。

**答** 横断歩道の標示ペイントが剥がれるなど安全性に支障があると把握した箇所は、公安委員会へ復旧を要望している。

道路舗装補修は、主要市道は路線ごとに予算を確保して計画的に実施。その他の市道は、道路補修担当者会議で補修箇所を選定している。

倒壊の危険性がある  
空き家

**問** 近所に被害を及ぼす危険が想定される老朽化した空き家についての対策は。

**答** 令和3年度の空き家等実態調査では、倒壊等の可能性が高いのは47戸、極めて高いのが54戸。

周辺の住環境に著しく悪影響を及ぼす危険な空き家には、空家対策特別措置法に基づき、特定空家等に認定し、助言・指導、勧告などを行っている。



こにし  
つとむ  
小西 努  
(潮)

## リノベーション まちづくり推進事業

**問** 人口減少が進む中、定住人口だけではなく、地域に対する誇りや自負心を持ち地域づくりに生き生きと活動する人や団体などの数である活動人口に着目し、鳴門市を活力あるまちにしようというリノベーションまちづくり推進事業について。

**答** リノベーションまちづくり推進事業は、空き家や空き地、公共空間などの既存の地域資源を活用し、飲食や物販などの新たなコンテンツを生み出したり、コミュニティの活性化を図ったりする民間主導の取り組みである。

令和7年度は、事業の可能性の検討段階と位置付け、空洞化している地方都市の活性化手法などについて学び、機運醸成や理解促進を図るリノベーションまちづくり講演会や、遊休不動産の活用を希望する人材の発掘、不動産オーナーとの連携、対象エリアの調査・検討などを実施する。



リノベーションした店舗（イメージ）

エリア価値の向上を通じて市民の意識改革を促し活動人口を増やすことで、まちを活性化させることは住民の幸福度向上に資するものであり、まちの質的向上を図る仕掛けのひとつとして、人口減少に適応した地域づくりにつなげる。

**要望** キッチンカーや期間限定店舗、遊休施設の活用など、多様なアイデアを活かしてもらいたい。

また、事業成功のため、リノベーションスクールの開催や他地域の成功例を参考にして、やりたいという事業者や事業を志す人を発掘し、具体的な取り組みの早期実施へ向け進めてもらいたい。

## 令和7年度当初予算・令和6年度補正予算審査

### 市の予算の使い道について審査しました

6日間にわたり、予算決算委員会を開催し、令和7年度当初予算・令和6年度補正予算に関する議案19件について審査しました。

《■：質疑 ●：答弁 ★：意見》

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

## スポーツ

### 【新スポーツ施設】

■新スポーツ施設基本計画策定業務の予算の概要は？

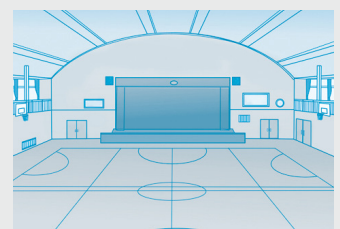
●鳴門市民会館の閉館以降、市民スポーツの拠点となる新たな体育館について多くの要望があるとともに、市内にプール施設がないことや小中学校プールの老朽化が進んでいることなどから、現在、体育館と屋内温水プールの複合的な施設の建設に向けた取り組みを進めており、今回計上している予算については、基本計画の策定業務を委託するものとなっている。

■完成予定はいつ頃になるのか？

●令和7年度に基本計画に取りかかり、できれば1年間で基本計画をまとめたい。その後、基本設計、実施設計と移り、着工となるため、少なくとも数年はかかる見込みであるが、早期完成を目指したい。

■基本計画の進め方は？

●まず、計画策定業務を委託する事業者を決定し、市民やスポーツ関係者などのお声を聞かせていただきながら、委託事業者と意見交換を交わし、具体的な進め方を検討していきたい。

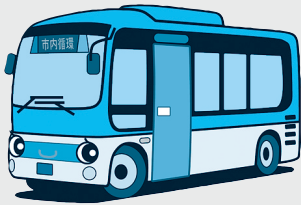


(13ページへつづく)

## 地域 活性

### 【地域交通】

- 公共交通空白地域の解消に向け、民間団体と連携しどのような取り組みを行っているのか？
- 矢倉地区においては、(株)鳴門自動車教習所の送迎車両の空席を活用し、鳴門教習所から矢倉バス停までの間を定時定路線で運行している。この他、島田地区においては、令和6年10月からNPO法人山びこへるぶの協力のもと、移動支援実証事業を実施している。令和7年4月からの本格運行に向け、同法人と協議を重ねている。



### 【スタートアップ支援】

- 鳴門ならではのスタートアップ支援の仕組みづくりの内容と、目標は？
- 令和6年度の取り組みを踏まえ、スタートアップが集まるプログラム「NARUTO CONNECT」と生まれるプログラム「NARUTO BOOT CAMP」を軸に事業を展開し、鳴門市応援スタートアップ制度「なるスタ」により支援することで本市での定着を図ることとしている。目標としては、令和6年度の実績である1社を上回る、2社以上を目指したい。また、鳴門での事業活動を通じて地域イノベーションを創出していただけるといったようなスタートアップ企業を積極的に呼び込みたい。



## 市民 生活

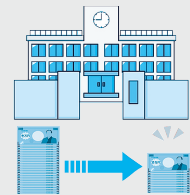
### 【不妊治療助成】

- 不妊治療費助成事業の概要は？
- 令和4年度より体外受精などの生殖補助医療に係る保険適用後の自己負担額に対し治療1回あたり10万円を上限に助成している。また、一般不妊治療には初回の治療開始日から1年以内の治療費を全額助成するなど、全国的にも珍しい不妊治療支援に取り組んでいる。令和7年度からは、生殖補助医療に係る助成上限額を30万円に増額し治療費の実質無償化を目指し、また、県下に先駆けて、保険診療の生殖補助医療に併用して行われた先進医療を助成対象とする。

令和7年度からは、生殖補助医療に係る助成上限額を30万円に増額し治療費の実質無償化を目指し、また、県下に先駆けて、保険診療の生殖補助医療に併用して行われた先進医療を助成対象とする。

### 【子育て支援】

- 高校生授業料助成事業について、国が同様の事業を実施した場合、鳴門市の予算はどうなるのか？
- 現在、国は年収910万円未満の世帯を対象に公立高等学校の月額授業料相当額9,900円を助成している。高校生授業料助成事業では、国の事業の対象外となる年収910万円以上の世帯に対して鳴門市が助成する。令和7年度の国の予算案では所得制限を撤廃する内容であり、成立すれば鳴門市の予算は不要となるが、現在は未確定のため予算計上している。
- ★当該予算が不要となった場合は、スポーツクラブなど子どものために使ってほしい。



## 暮らし を守る

### 【消 防】

- 消防団安全装備品整備事業の予算額の内訳については？
- 現在の救命胴衣数は、各分団に約10着ずつ合計441着を令和2年度までに配備しており、令和7年度中に全分団員に配備できるよう、残り457着を予定としている。救命胴衣1着あたりは7,865円である。

令和7年度中に全分団員に配備できるよう、残り457着を予定としている。救命胴衣1着あたりは7,865円である。

\* \* \*

- 鳴門市の消防団員の数が減少しているが、現在の人数と平均年齢は？
- 現消防団員の人数について、令和2年度は907名であったが、今年度現在は898名であり、平均年齢は46歳となっている。

- 救急統計「Q助7」システムとは？
- 救急統計システムの「Q助7」は、救急隊が活動内容や時系列、傷病者の状況等を入力し、報告書の作成を行うもの。入力された情報を精査し、国等の調査や統計業務に活用している。
- 全国版救急受診アプリ「Q助」との違いとアプリの周知方法については？

- 総務省消防庁が出している全国版救急受診アプリ「Q助」は病気やけがをした際に、病院を受診したほうがよいか、救急車を呼ぶべきかなど、迷ったときの判断の一助とするために作成されたもの。鳴門市では「#7119(徳島救急医療電話相談)」「#8000(徳島子ども医療電話相談)」の普及啓発に力を入れたい。



## その他

### 【UZU PARK】

- ウズパーク拡張事業の概要は？
- スケートボードエリアの拡張と、バスケットボールおよびフットサルをメイン競技とする人工芝の多目的コート

の整備を計画している。

スケートボードについては、現在バスケットコートがある北側をスケートボードエリアとして拡張する予定で、多目的コートについては、バスケットコートを現在の1面から1.5面半コート分拡張の上、サイクルステーションの西側に移設する予定である。また、その北側で現在本場駐車場として使用しているスペースにフットサル場を新設し、バスケットボール・フットサル

コートとして整備を進めていきたいと考えている。今回の拡張事業に伴い、ベンチや照明などの設備機器も合わせて整備していきたい。



### 【にぎわい創出】

■撫養川親水公園周辺エリアを活用した応援事業の今後の展開は？

●撫養川親水公園から鳴門市役所庁舎周辺のエリアは、多くの市民が日常的に訪れる場所であり、公共空間としてのポテンシャルが非常に高いエリアである。このエリアを活用した公民連携によるさまざまな取組を支援するため、貸出し用備品の整備や補助金の交付を行い、持続的ににぎわい創出とエリア価値の創造を図るとともに、居心地の良い、歩きたくなる「ウォーカブル」な空間の実現を目指す。

■今後、文化会館や健康福祉交流センターの改修工事が予定されているが、事業への影響は？

●改修工事期間中については、新庁舎の駐車場エリアを活用し、継続的にマルシェなどのイベント開催ができるよう調整を進めており、引き続き、撫養川親水公園から鳴門市役所庁舎周辺エリア全体のにぎわい創出とエリア価値の創造に努めたい。

### 【環 境】

■再生可能エネルギー設備等普及促進事業補助金とは？

●地球温暖化対策の推進および脱炭素社会の形成を図るとともに、災害に強いフェーズフリーなまちづくりを実現するために、住宅用太陽光発電システム・家庭用蓄電池システム・電気自動車等受給電設備などを設置される方に補助金を交付する。

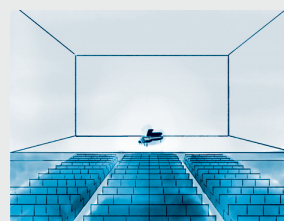
### 【文化会館】

■文化会館再開準備業務の概要は？

●将来的に指定管理者となる指定管理候補者に、施設の改修設計・工事など各種調整段階から参画していただき、運営者目線による実効的な施設整備に努める。指定管理候補者の選定は令和7年6月を予定。

■文化会館再開準備業務の委託事業の内容は？

●主な事業内容として、施設整備や什器などの選定に係る協議への参加、広報宣伝、営業に関する検討・準備、ホームページの開設や予約受付システムの構築、市内事業者や団体、関係機関との連携を事前に行う。



### 【ボートレース】

■舟券の売上金の推移と今後の予想は？

●本場をリニューアルした平成28年度は約356億円であったが、その後も順調に売上げを伸ばし、令和6年度の売上げは過去最高額の約843億514万円となった。今後の予想については、令和7年度は、PG1スピードクイーンメモリアル開催分85億円を含む811億9046万円を見込んではいないものの、令和8年度以降は、グレードレースの有無、社会経済情勢にもよるが、売上げの8割以上を占める電話投票の向上施策により、引き続き売上げの維持向上に努めていきたい。

■舟券購入者の年代別の把握と傾向は？

●現金購入の場合、購入者の年代等の属性は把握していないが、令和5年度にボートレース鳴門において舟券を電話投票で購入された方の年代別の割合は、20代が12.95%、30代が29.44%、40代が28.45%、50代が18.33%、60代が6.97%、70代以上が3.85%となっている。



特に、若年層ほどスマートフォンやPCで舟券を購入する割合が高い傾向があり、インターネット広告宣伝などを効果的に活用し、売上げの向上に努めたい。

★今後、人口減少が進むと1人当たりの購買金額も減少してくることも考えられるため、10年、20年先を見据えた計画や対策により、一般財源への安定した繰入れが行えるよう取り組んでいただきたい。



# 令和7年3月18日に鳴門渦潮高校の生徒が「鳴門活性化発表会」を鳴門市議会議場で開催

鳴門渦潮高校の総合学科の科目である「産業社会と人間」では、「職業人に学ぶ」講座や「鳴門に学ぶ地域学」講座、撫養街道ウォーク、外務省特別講座、学習発表会など、地域や社会で活躍する方々を講師や審査員として招聘し、実りある授業を展開しています。その学習の成果を鳴門地域に還元し、地域に貢献することを目的として鳴門市議会議場で「鳴門活性化発表会」を開催しました。

## 【13HR】 鳴門パフェを作ろう

発表者：久保 杏奈 さん  
郡 煌乃 さん  
大山 美奈 さん  
曾根あおい さん  
福井 望月 さん



## 【15HR】 老若男女楽しめる巨大パークに

発表者：楠口リンダ さん  
小笠 鈴菜 さん  
安井 桜颯 さん  
森本 亜瑚 さん



## 【15HR】 鳴門市の活性化と商店街についての研究と提言

発表者：竹口絵梨香 さん  
梅本 莉愛 さん  
森 彩香 さん



### ■ 全体を終えての感想 ■

- パワーポイントを作る担当だったが、わかりやすく簡潔に作るのは難しかった。アニメーションなども取り入れて注目してもらえるように工夫した。
- 文章をまとめたり発表をしたり、いつもとは違う経験だったので緊張した。
- はじめは鳴門市のことをあまりよく知らなかったが、今回鳴門市について調べたり、学習したりすることができてよかった。
- 鳴門市の出身ではないが、鳴門渦潮高校に通うことで、鳴門にはたくさんのお店があることも知ることができ、何年後かに鳴門市に住んでみたいと思った。
- 鳴門市よりも田んぼが広がる場所に住んでおり、鳴門市は発展しているほうだと思うが、それでも活性化しようと前向きなところがすごいと感じた。
- 鳴門パフェや巨大パーク、商店街の活性化など、私たちの発表が実現したらいいと思う。

～ 鳴門渦潮高校教員・鳴門市議会議員・市長・市職員などが傍聴しました ～



鳴門渦潮高校 林先生の挨拶



発表会の感想を述べる議員



藤田議長・梶副議長と記念撮影

## 令和7年第2回定例会の予定（6月2日～6月20日）

日	月	火	水	木	金	土
6月1日	2 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	3 一般質問 通告締切	4	5	6	7
8	9 一般質問(代表)	10 一般質問(個人)	11 一般質問(個人) 予算決算委員会	12 総務文教委員会	13 生活福祉委員会	14
15	16 産業建設委員会	17	18	19 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	20 本会議／閉会	21
22	23	24	25	26	27	28

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

### ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

#### 【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。
- ②鳴門市役所 本庁舎1階 待合ロビー付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしません。個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



### もっと議会を知りたい



#### 【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。



#### 【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索。
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。



### 《傍聴にお越しく下さい》

令和7年第2回定例会は上記の日程で開催予定です。本会議、各常任委員会の傍聴に、ぜひお越しく下さい。

#### ・本会議…議場

(受付：西側エレベーター4階／議場入口)

※当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

#### ・委員会…委員会室

(受付：西側エレベーター4階／議会事務局)



### 《議会広報委員会》

委員長：小西 努

副委員長：上田 公司

委員：浜 盛幸・宅川 靖次・八木 亨

圃山 俊作・江戸 貴志・三津 良裕

### ≡ 編 集 後 記 ≡

議会広報委員会では、若い世代の市議会への関心を高める取り組みとして、高校生との交流を始めて3年目を迎えました。これからも分かりやすく、親しみやすい紙面を目指して、様々な取り組みを進めていきますので、ぜひご覧ください！

(副委員長：上田 公司)

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。